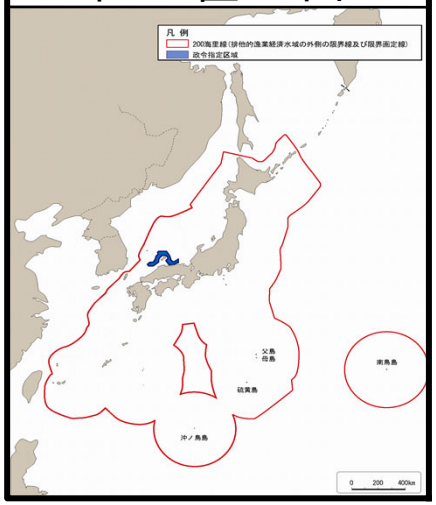
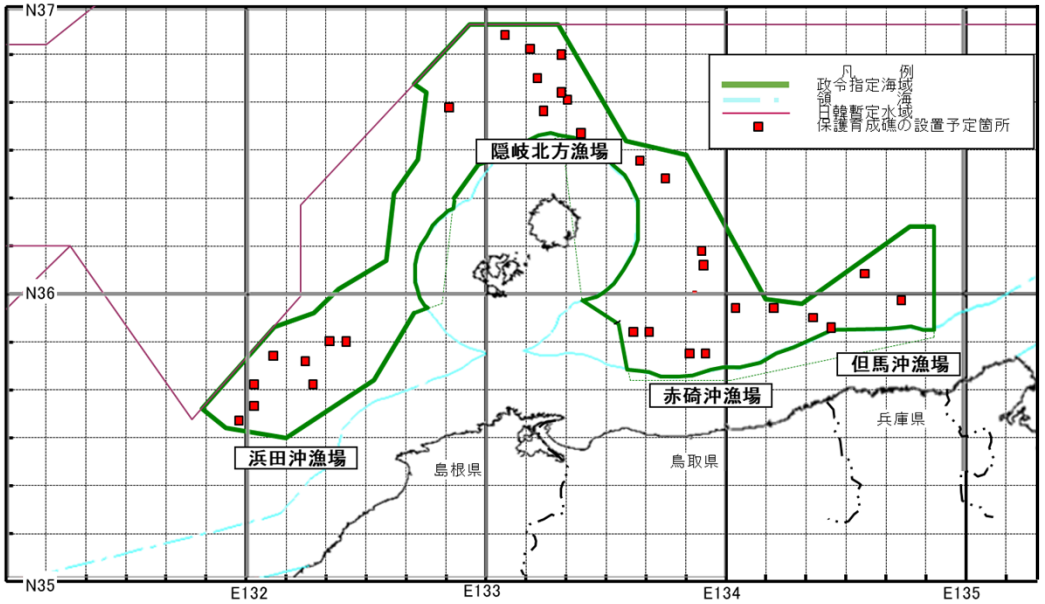
日本海西部地区直轄特定漁港漁場整備事業計画の概要
～ フロンティア漁場整備事業の実施 ～

位　置　図





整備目的

日本海西部海域におけるあかがれい及びずわいがに資源の保護増大

地区名：日本海西部地区漁場
所在地：兵庫・鳥取・島根三県沖合の我が国排他的経済水域

主な整備の内容

保護育成礁　32群　12,500ha

事業主体：国
総事業費：17，078百万円
事業期間：H19～R6

地区の概要

・日本海西部海域は、日本海固有水のほか、日本列島沿いに北上する対馬暖流の影響によりズワイガニ、アカガレイをはじめとして様々な魚種の好漁場を形成。

・「日本海西部あかがれい（ずわいがに）資源回復計画」が平成14年9月に公表され、休漁等の資源回復のための措置がとられるとともに、平成23年4月以降も、引き続き資源管理指針、資源管理計画の下、資源管理に努めている。

・本海域の沖合底びき網漁業の主要な漁獲物であるズワイガニ及びアカガレイの漁獲量が激減。近年、徐々に回復してきているが、引き続き資源管理等の取り組みを行うことが必要。

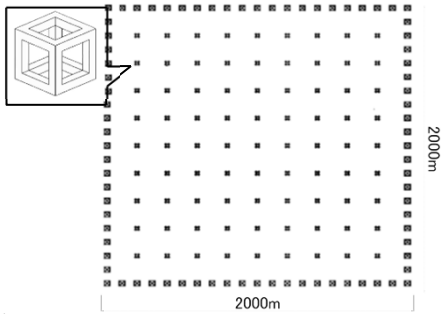
費用の負担割合

国：3／4，　関係3県：1／4

（関係3県の分担の割合
兵庫48.2%、鳥取45.5%、島根6.3%）

保護育成礁での餌料生物

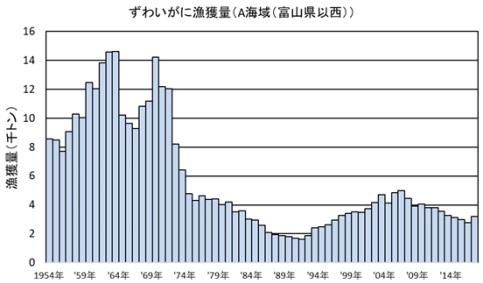
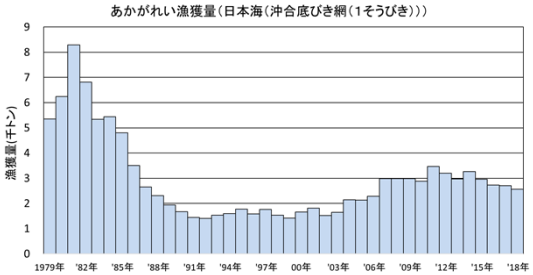
保護育成礁の設置場所のずわいがに



保護育成礁のイメージ

基本的に2,000m×2,000mのブロックで囲まれた区画の中に更に複数のブロックを設置し1群を構成。

日本海におけるずわいがに漁獲量の推移



日本海におけるあかがれい漁獲量の推移